

議会広報

かみいち

2018
15号
平成30年4月16日

技の部 優勝「すべり止め極意」



もしかめの部
優勝「1013回/10分」



3月定例会の審議の要点
一般質問
町民の声

(写真)相ノ木小学校けん玉大会 2月16・19日

発行／上市町議会
編集／議会広報特別委員会



平成30年3月定例会の審議の要点

平成29年度
一般会計補正予算
1億8610万円を増額し

総額 **100億792万円**

平成30年3月定例会は、5日から15日までの11日間にわたって開かれ、平成29年度の一般会計補正予算から、平成30年度の新年度予算、及び、条例の制定並びに一部改正、全31件について審議を行い、議事はすべて原案の通り可決。追加議案の人事案件2件については、再任及び選任に同意。請願1件は不採択としました。

その他、議員9名が一般質問（P6からP14）に立った。

平成30年度一般会計当初予算

前年当初比2.2%減 総額 **96億5627万円**

スマートインターチェンジ連結道路等整備事業	1億6350万円
企業誘致推進	2億2535万円
こども医療費助成事業	5941万円
学校給食費助成事業	2200万円
町営バス路線再編調査等事業	866万円
がん対策事業	3136万円
農産物の特産品振興	259万円
イノシシ対策用グレーチング設置工事	450万円
情報教育推進事業	576万円
産前・産後サポート事業	344万円
上市町教育長に藤縄太郎氏を再任	
上市町監査委員に酒井一政氏を選任	

議案採決一覧

○賛成 ×反対 △保留・欠席

議案	議 員											
	議長 松谷 英真	松本 寛	寺西 庄司	伊井 勇治	成川 友仁	堀田 喜久男	勝戸 謙	伊東 俊治	宝嶋 洋子	碓井 憲夫	酒井 恒雄	酒井 桂之
第1号	平成30年度上市町一般会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2号	平成30年度上市町土地取得事業特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3号	平成30年度上市町墓地公園事業特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号	平成30年度上市町地域開発事業特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号	平成30年度上市町農業集落排水事業特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第6号	平成30年度上市町下水道事業特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第7号	平成30年度上市町後期高齢者医療事業特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第8号	平成30年度上市町国民健康保険事業特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号	平成30年度上市町水道事業会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第10号	平成30年度上市町病院事業会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第11号	上市町個人情報保護条例及び上市町情報公開条例の一部を改正する条例制定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第12号	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例一部改正の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第13号	地域再生法で定める地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例一部改正の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第14号	上市町国民健康保険条例一部改正の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第15号	上市町後期高齢者医療に関する条例一部改正の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第16号	上市町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例一部改正の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第17号	上市町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例一部改正の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号	上市町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例一部改正の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第19号	専決処分の承認を求める件(H29年度補正予算(第6号))	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第20号	専決処分の承認を求める件(H29年度補正予算(第7号))	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第21号	平成29年度上市町一般会計補正予算(第8号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第22号	平成29年度上市町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第23号	平成29年度上市町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第24号	平成29年度上市町後期高齢者医療事業特別会計予算(第2号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第25号	平成29年度上市町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第26号	平成29年度上市町水道事業会計補正予算(第2号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第27号	平成29年度上市町病院事業会計補正予算(第4号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第28号	富山地区広域圏事務組規約変更の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第29号	辺地に係る総合整備計画変更の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第30号	公の施設の他の団体の利用に関する協議の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第31号	町道路線の認定及び廃止に関する件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第32号	上市町教育長任命に関し同意を得る件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第33号	上市町監査委員選任に関し同意を得る件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	消費税10%中止を求める意見書採択の請願書	-	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○

会議出欠表

○出席 ×欠席 △遅刻・早退

日付	会議の内容等	松谷 英真	松本 寛	寺西 庄司	伊井 勇治	成川 友仁	堀田 喜久男	勝戸 謙	伊東 俊治	宝嶋 洋子	碓井 憲夫	酒井 恒雄	酒井 桂之
3月5日	本会議、全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8日	本会議(一般質問)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9日	予算特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12日	予算特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13日	総務教育常任委員会	-	○	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○
14日	産業厚生常任委員会	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○	○	-
15日	本会議(委員長報告・討論・採決)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

委員会の審議

予算特別委員会

実績を踏まえて
着実な予算編成

財務課

製薬・化学・機械分野の企業の好調もあって、法人町民税の増収を見込む。

町の普通財産で活用していないものは、売却を図っていく。

会計課

請求書等の書類は2年間会計課内で保管し、その後は本庁舎裏にある公文書館に移して所蔵している。

総務課

地域防災の新たな補

助金として、浸水想定

区域内において排水ポンプ・トランシーバー・救命ボートの整備を補助する。平成33年度末まで。

上市消防署

上正および柿沢4区地内において、新年度消火栓を設置予定。ドクターヘリが離着陸するランデブーポイント、学校のグラウンドなど町内16カ所を登録している。

企画課

ペレットストーブへの補助実績は、平成27年度1件、平成28年度0件、平成29年度1件。3世代同居への補助実績は、平成28年度11世帯、平成29年度13世帯。広報かみいち等で

補助金の周知を図る。

ふるさと同窓会への補助実績は、平成28年度20回、平成29年度13回。40歳前後で集う2回目の成人式は、今回約50名集まった。

公共交通を守っていく考えのもと、沿線自治体として富山地方鉄道を支援している。富山県と協調して資金面を負担。

地域公共交通会議の委員構成は今後検討。コミュニティバスなどの利用者の関わりが求められている。

町民課

運転免許の高齢者講習への補助金を継続。これまでの補助実績は、11月分56件、12月分33件、1月分47件、2月分35件。

建設課

町道和合・柿沢線は、土地所有者との交渉を進め、平成30年末の完成を目指している。

危険になった空き家を解体する略式代執行は、法令に基づきこれまで3戸に行った。

産業課

地域の魅力を発信する着地型ツアーへの事業補助は、商談プロモーション、モニターツアー、観光イベントの開催を内容とする。

地籍調査の測量成果を踏まえ、順次登記を進めている。

福祉課

受診率の向上を目的に、70歳までを対象にがん検診助成を行う。

高齢者入浴サービス事業では、年間1

人5枚の入浴券を配布。平成28年度は延べ2978名が利用した。

ねんりんピックは町が運営主体となる。これから本格的に準備を進める。

かみいち総合病院

駐車場不足の解消に向けて新年度、総合病院南館裏の未舗装の部分と田畑を購入したいと考えている。

外国語指導員は、平成29年度まで白萩西部・陽南・上市中央において町で雇用した2名を配置し、その他は県から派遣された専科教員で対応。新年度か

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。

ら町で全ての小学校に配置対応するため、新たに2名を追加する。ウエルネススポーツセンターのジム利用者への補助実績は、平成29年度60名。

山の日記念の早月尾根登山の日程は、小屋の繁忙期の関係上、8月18日・19日を予定。初心者参加を想定し、眺めのよい標高2400m付近まで登って引き返す。

給食費への補助増額は、今後の検討課題。

委員会の審議

総務教育 常任委員会

総務課

個人情報保護条例の一部改定は、災害時を想定し、その対応のために行われた。情報公開請求については、今年度6件、カルテ、地図情報等。総務課前に文献等公開している。

企画課

地域おこし協力隊の募集状況は。2名予定していたが、現在1名のみ。HP、イベント等で募集を継続している。

W成人式が盛況だったと聞く、トリプル成人式の考えは。ふるさと同窓会補助の活用で行ってほしい。

財務課

町の景気動向は。当

町の企業は概ね、順調に推移していると考えられる。ただ、設備投資に係る3年間の課税免除があるため、すぐには増収効果は現れず、それが終われば税額はアップすると思う。

カヌー選手に、ふるさと寄付金を活用できないか。富山市では、雷鳥のクラウドファンディングを作った。周りの動向を見据えて検討していきたい。

教育委員会

テーマごとに町と連携を図れるような図書を揃えては。生活していく上での身近な課題を取り入れていきたい。

図書館の職員配置について再考は。手当等の関係で難しい。本の紹介はネット3、

広報で行っていると聞きました。図書利用者などサポーター制を活用しては。いろいろな意見を取り入れることは大事。検討していきたい。

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。請願については不採択。所管事務事項の継続審査の件は了承。

産業厚生 常任委員会

総合病院外科 4月より毎日診療

福祉課

保育士の給与改善事業は4月に遡って行う。

医療費補助対象のひとり親世帯は、平成29年12月現在で153世帯。

報告

保健福祉総合センター指定管理委託費等の増加理由は、ボイラー修繕、井戸メンテナンス、灯油などの燃料費高騰によるものなど。

保健班の嘱託職員（育休代替え保健師）を募集していたが、専門職のため、なかなか見つからなかった。

（全戸配布で案内済み）

産業課

人間ドックは、75歳以上でも受けられる。斎場の休館日は規則では1月1日だが、炉を休める等の理由から内規で友引など月8日程度休館日としているとの当局説明。委員からは、友引の意味を分かっている、都会では休み無しで炉が動いており「炉を休める」は事業者の勝手である、と再考を求めた。

マックスバリユ上市店でのアルミ缶収集は3月31日まで、ペットボトル収集は6月30日で終了。終了後は、各町内会リサイクルステーションへ出す事。

建設課

上市スマートIC連結道路用地買収費や買収後の道路整備の工事費等を計上。

かみいち総合病院

外科医師について、4月からは富大にお願いしており、毎日対応できる診療体制となる。

通信運搬費の増理由は、臨時医師への文書のやり取り費用等。県外医師のチケットのやり取りもあり、配達記録郵便などを使うことが多くなったため。

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査の件は了承。

一般質問

工業団地の整備について 通学路交通安全プログラム見直し



伊井 勇 議員

議員 企業誘致のため工業団地を事前に整備し備えてはどうか。また、財源としてPFI事業により予算の平準化を図ってはどうか。

町長 企業誘致が整った場合には、雇用創出・定住人口や交流人口の増加などメリットが期待出来る。一方、長期に渡って誘致が出来ない場合に財政圧迫するリスクがある。

これらのメリットとリスクを検証し、進める場合は上市町都市計画マスタープランで計画している町南西部の工業ゾーンを優先に考えたい。

なお、工業団地の整備に向けた、プロジェクトチーム設置やPFI事業での整備は、部局横断的な検証や市場調査など幅広い観点が必要であり併せて調査する。

議員 町ホームページ掲載の「通学路交通安全プログラム」に上市中央小学校区の記載がない。危険箇所が多くあり対策せよ。

副町長 昨年2月に、町内全域の合同点検・現地視察を行い本年までに8カ所の緊急箇所を選定し

た。その中には上市中央小学校区が含まれていなかった。今後は、合同点検を定期的に実施し、日頃より交通安全など登校時の見守りでお世話をいただいている校区の方々の意見を聞き、対策や改善を図る。

る。



上市中央小学生の登校状況

議員 上市図書館を気軽に利用できるよう刷新はどうか。

教育長 昭和63年に上市公民館との複合施設として建設された。ボランティアによる絵本の読み聞かせや夏休み期間中のほとんどで読書ができるよう取り組んでいる。

平成30年度よりマイナンバーカードで上市図書館の貸出しサービスができるよう取り組んでいる。

く。

除雪体制見直しを

議員 通勤・通学時の歩道除雪がされていない。車道を歩く姿が多く見られ危険にさらされている。

また、かみいち総合病院や上市駅南側では散水消雪がなく渋滞が発生している改善を望む。

建設課長 除雪について

は、車道を優先に除雪し、終了後に歩道除雪を実施している。なるべく通勤・通学時間帯に間に合うよう実施します。

また、散水消雪は、既存ポンプの能力を調査し、延長増が出来るかを検討する。

地下水の活用について

議員 工業団地の設置や散水消雪の活用のため地下水を利用しやすいものにしなければならない。地下水に関する情報を発信してほしい。

町民課長 「上市町地下水保全に関する条例」に基づき、11カ所において地下水位の変動観測をしている。町民共有の財産であるため慎重な取り扱いをする。

地下水に関する情報は、町のホームページに掲載する。



堀田喜久男 議員

水道断水時等の初期対応徹底を 平地から見える日本海側初の氷河

水道断水・水圧低下

議員 1月27日、30日に発生した水道断水・水圧低下に関する被害状況の全容、原因、当日の対応、今後の対策は。

建設課長 被害の全容は、両日の夜3時間から4時間程度、法音寺、上法音寺などの地区で、約150世帯の断水と約700世帯の水圧不足や減水が発生した。

主な原因は、56豪雪以来の降雪の多さのため、上水道使用の融雪と、個々の家屋の給水管の凍結に伴う破裂等が多発したため。

当日の対応としては、配水池の水位の復帰に努めるため、仕切弁を調整し、水位の復旧に努めた。

今後の対応として、冬期間に向けて、節水と凍結防止の協力願いの配布物を事前に配り、周知に努めるとともに、想定外

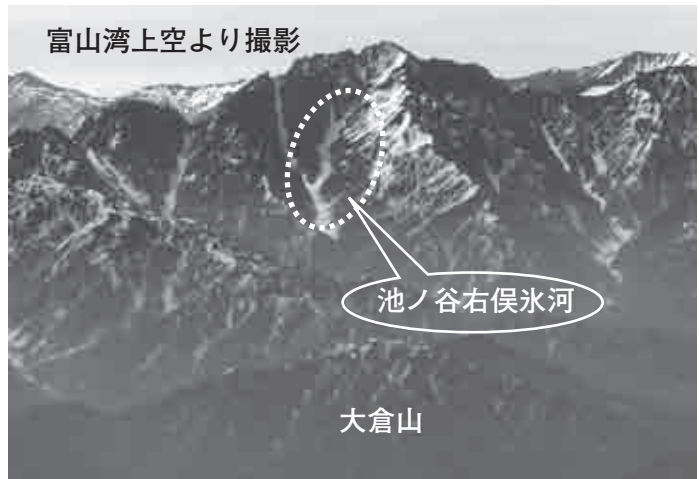
の緊急時における水量低下等においては、Net 3放送などを活用し、周知徹底に努めたい。

議員 今回の問題を町民目線で検証すれば、一番に「初期対応の遅れ」ではないか。水圧低下、断水と進む不安の中で、何の情報も得られず、逆に使用水量も増す悪循環に陥ったように思う。

今後は防災無線や街宣車、テロップ等の活用で迅速に対応して頂きたい。

劔岳池ノ谷右俣氷河

議員 今回の、氷河と確認された劔岳西面池ノ谷右俣雪渓は、日本海側初で、平地からも見える唯一の氷河である事に着目。これを活かすために、新たなビューポイントの発掘、写真や看板への位置表示、既存のPRパンフレットへの追加、町民への周知のための講演会開催をしてはどうか。



富山湾上空より撮影

池ノ谷右俣氷河

大倉山

産業課長 平野部からも

目視できる国内で唯一の氷河で、町の新たな自然資源・宝物である。町は現在進めている、自然資源の活用で地域振興を図る「エコツーリズム」の一環として氷河の活用を検討し、町の誇り、内外に発信できる宝物となるよう、観光協会などと協力して参りたい。

「ビューポイントの発掘」「PRパンフレットへの追加」について

では、「氷河が見える町」として案内や解説を含め、パンフレット増刷の際に追記して参りたい。また、レンタサイクル事業「コググチャ」やトレッキングなどの既存マップには「氷河マーク」を記す

などの対応をして参りたい。

「写真・看板に氷河の位置表示」については、町内に点在の既存の写真看板や、馬場島荘のモニメントなどに表示可能か調査して参りたい。

「町民周知のための講演会実施」については、教育委員会所管のふるさと町民学園との連携などを模索し、実現できるように進めて参りたい。

滑川市や富山市、新幹線の車窓からも天候次第では確認可能だが、最も美しい姿の劔岳と氷河が同時に確認できる場所が上市町であり、県が作成する広域的なパンフレットなどにも紹介できる素材と考える。今後は、関係各所にパンフレット掲載やメディア紹介を要望し、紹介して頂けるよう活動して参りたい。

議員 池ノ谷は一般向きではなく、見て楽しむのが一番。山好きには、初心者コースの大倉山(1443m)山頂から、正面に見る事ができる。



大倉山山頂より撮影

一般質問

移住・定住のさらなる促進は「お試し居住ルーム」設置と運営



酒井 健之 議員

移住・定住の促進をどう進めるのか

議員 第7次上市町総合計画での移住・定住促進の取り組みの進捗状況はどうなっているのか。

企画課長 平成32年度末までに年間20人以上の増を目指し、定住促進ホームページによる情報発信及び東京や大阪で開催さ

▲とやま、移住・転職フェア（東京）



▶おいでや 田舎暮らしフェア（大阪）

れる移住セミナーやイベントへの参加により、移住に係る相談件数は平成28年度が71件、平成29年度は65件あり、平成28年度が1世帯5人、平成29年度は5世帯7人が移住した。

議員 地域おこし協力隊が行っている活動はどのようなものか。

企画課長 平成28年6月に町初の地域おこし協

力隊員を1名委嘱し、移住・定住支援業務として町の魅力や情報の発信、カミール2階のわんぱく広場の管理や子育て支援事業に携わっている。

議員 体験・移住・定住者のためのモデルハウスの建設を考えられないか。

企画課長 町では定住促進住宅を活用し、「上市暮らし」体験住宅を運営

している。
町長 「お試し居住ルーム」の設置ができる民家を確保できないか、検討したい。

議員 大岩・立山寺・穴の谷などの観光プラン（モデルコース）作成と観光ボランティアガイドの関わりはできないか。

産業課長 ホームページでは、森林セラピー基地周辺コース、ファミリールコース、レンタサイクルコースなどを設定し、飲食店も紹介しており、時間に応じ各自が満喫できる内容になっている。観光マップでは、2時間コース、半日コース、一日コース別にモデルスポットと所要時間を示しており、タクシー利用者への料金案内などは観光協会にお問い合わせのみ実施している。観光協会を窓口に見光ボランティアガイドの受付をしており、ガイドグループ剣・きらめきの会は年間800名余りの案内をしている。

議員 アルプスの湯内に家族で楽しめる企画は考えられないか。

福祉課長 アルプスの湯は来年で20周年を迎え、利用者が400万人に達し、今年毎月19日は「風呂育」の日とし、スタンプを集めると食堂や売店で使える共通割引券や商品券をもらえるキャンペーンを実施している。





伊東俊治 議員

生活困窮者を孤立化から防げ

伊東俊治議員
生活困窮者を孤立化から防げ

生活困窮者を孤立化から防げ

生活困窮者を孤立化から防げ

議員 増える独居高齢者の支援について、地域の力をどう引き出すか。
福祉課長 上市町における独居世帯数は、平成27年国勢調査では1540世帯、全世帯の20.8%を占め、その内65歳以上の独居高齢者の世帯は881世帯で全世帯の11.9%を占めている。
次に独居高齢者が陥る孤立化への悪循環を食い止める対策については、町のひとり暮らし高齢者等への取り組みは、福祉課や地域包括支援センターが担当している。高齢者が、可能な限り自立した生活を送ることができるよう、地域住民、関係機関・団体等の参画と連携のもと、介護予防事業や健康づくり・生きがい対策を推進している。認知症やひとり暮らしとなっても、住み慣れた地域で生活を継続できるように、医療、介護・介護予防、保健、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される地域包括ケ

アシステムの推進を図っている。
高齢者が地域とつながりを持って自立できる体制については、上市町社会福祉協議会において実施するケアネット21事業がある。地区社協の皆さんが中心となり、町内単位でチームを作り、個別支援を必要とする方々に見守りや声かけ、話し相手などに加え、必要に応じてゴミ出しや買い物代行、除雪等を行う活動で、昨年度の活動実績は、延べ3万766回である。また、町社会福祉協議会に委託している配食サービスでは、月に2回民生委員やボランティアの皆さんが、安否確認を兼ね実施している。
今後とも高齢者の意見に耳を傾け、高齢者が可能な限り自立した生活を送ることができるよう「自助・互助・共助・公助」が一体となった地域福祉を推進していく。

議員 生活困窮者自立支援の体制の強化は。
福祉課長 生活保護に至る前の段階にある生活困窮者の相談・支援業務を行う機関で、専門の相談員が、各市町村の担当とともに生活困窮者の生活態度の指導から就労準備支援や面接指導など就労に結び付けるための活動を行っている。
当町の事業実績は、平成27年度、相談者9名中6名が就労し、平成28年度は7名中3名が就労につながっている。全国的にも着実な伸びが見られることから、当事業実施による成果は得られているものと確認している。
議員の心配の通り、生活困窮者の中には血縁・地縁関係が破綻し、孤立した状況に陥っている方が多くみられる。また、借金や病気、障害や介護といった課題が複合的に重なっているケースも増えてきている。
このような困難ケースに対しては、福祉課内の



みならず、町社協や中部厚生センター等関係機関による横断的な関わりから、必要な支援に速やかに対応している。
を密にし、対処する。また、困窮者の実態に応じ、家計も含め一体的に対応している。

一般質問

地域の自主防災に対して助成を
安心遊具とイベントで賑わいの場

寺西 庄司 議員



今冬の大雪状況

来年度も、防災リーダーの育成に努め、防災知識の向上を図る為の研修会や防災訓練を予定しており、住民主体による地域防災力が向上するよう支援していく。

大雪を乗り越えて
議員 今冬、大雪災害に見舞われ、大変な思いをされたと拝察する。さらに地域では、独り住まいで除雪にお困りの方々に對し、朝一番から除雪ボランティアをして頂いている方々がいる。
この様な気持ちのこもった共助関係が、いざという時のコミュニティの繋がりに反映される。
そこで、来年度の防災計画では、その訓練・活動目標やその実績さらには内容はどうか。
かかる活動に対する助成内容は。

総務課長 第7次上市町総合計画後期基本計画においては、自主防災会が実施する防災訓練の割合を5%向上させ、平成32年度には39%以上とする目標を掲げており、その実績は、平成28年度は37%、平成29年度は34%となっている。平成28年度からは、自主防災会が行う防災訓練の経費に対して助成の上限額を1万円から2万円に引き上げている。また、今年度の実績を踏まえ、来年度からは、共助による防災力の向上を図る為、現在、自主防災会1組織1回に限り、防災資機材の整備に要した費用の3分の2以内、10万円を限度としていたが30万円に拡充予定。

遊具広場の活用

議員 上市町が管理する公園において、遊具の点検・修繕・撤去等、安全対策はどうか。

産業課長 専門技術者による点検済み。遊具29基のうち、2基について修繕、9基について撤去完了済み。

議員 カミール2階の遊具広場が好評といわれているが、その要因は何か。
ママさん方が集える場として強化して欲しい。

産業課長 カミール2階の広場が好評といわれるのは、施設が「屋内」にあることから天候の影響を受けずに年間を通して遊ばせることができ、従来からある遊具に加え、一昨年には新たに大型遊具を設置し、供用を開始したことで従前の遊具は3歳未満、新設遊具は3歳以上就学前の子供



カミール2階わんぱく広場

用として年齢に応じたエリア分けがされた事。また、子育て世代の交流を促進するため、毎月1回開催する「子育て支援教室」、定期的に開催する「子育て相談窓口」、上市高校ティーンズボランティアによる「絵本読み聞かせ」など、施設の設

置場所とイベント等開催の相乗効果による魅力が町内外の方に浸透している。

その他の質問

30年1月の水道水圧低下に対する提言



勝戸 謙 議員

アニメ「未来のミライ」先行上映へ 町営バス・消防組織法施行70周年

町営バスを利用している
買利物・通院交通対策

議員 町民の足である町
営バスの今後の取り組み
は。

福祉課長 町営バスの運
行内容の変更等の要望に
対しては、各町内会の区
長を通じて具体的な要望
を受け、可能な範囲で対
応させてもらっている
が、コミュニティバス
が、路線バス方式である
ので、対応しきれていな
い部分がある。議員が紹
介したように、町内会に
よっては、コミュニティ
バスと併用で町内会独
自の取り組みを行って、

成果を上げている事例も
聞いている。

こうした取り組みは、
町内会住民の方々が高齢
者の生活の足の必要性に
理解を示され、主体的に
住民自ら町営バスの利用
促進と利便性の向上に取
り組まれた事例と考え
る。

新年度に実施する、路
線再編調査等事業におい
ては、こうした事例も参
考にして、町営バスの利
便性の向上と、効率的な
運行に協議検討してい
く。

消防組織法施行70周年 記念行事は

議員 70周年の記念行事
の有無と、消防の歴史を
問う。

消防署長 記念行事は、国
では3月7日消防組織法
に貢献された方々に対す
る表彰等、県では3月17
日県内消防関係者が一同
に会し「自治体消防70周
年記念富山県防火・防災
推進大会」が開催される
ことから、町独自の記念
行事は予定していない。

上市町消防の歴史は、
古く加賀鷹の流れを汲む
消防組織に始まり、明治
22年4月に上市町消防組
が組織される。昭和23年
3月7日消防法の施行に
より上市町消防本部及び
消防署の設置をみる。以
後昭和38年までの町
村合併、編入等によ
り現在の行政区域が
確立し、上市町消防
団の原型が整う。昭
和38年には、救急業
務が開始された。55
年には消防庁舎が現
在地に新築、平成3
年救急救命士制度が
成立し、11年救急救

命士及び高規格救急車の
運用を開始した。17年に
は女性消防隊の組織化、
25年3月からはスケール
メリットを活用し、更な
る消防体制の充実強化と
高度化を図るため、富山
県東部消防組合を設置
し、現在に至っている。

議員 映画観賞会の計画
があるか。
教育委員会事務局長 7
月公開予定の、細田守監
督の新作アニメーション
映画「未来のミライ」
は、これまでの作品と同
様に家族を題材にしてい
ると聞いている。昨今家
族の在り方や価値観が多
様化する中、家族間の愛
情や兄弟姉妹のつながり
や絆について、子供達を
はじめ、家族がともにそ
の関係を振り
返ることので
きる作品と考
える。

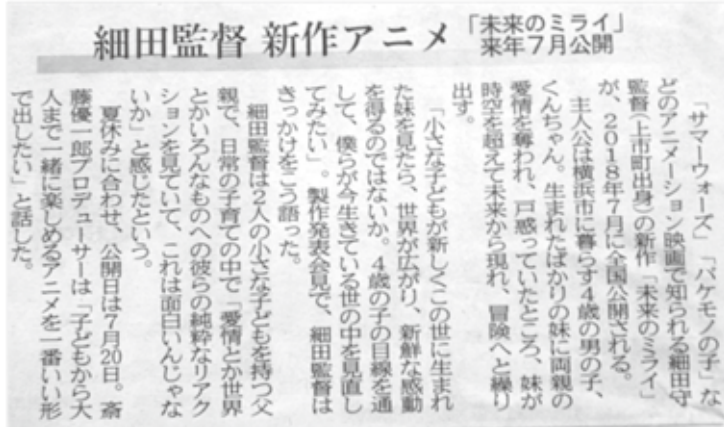
新作アニメ「未来のミ ライ」観賞会を



▶町内で除雪し利用した
バス停



▲上市町消防庁舎



▲2017.12.20付け富山新聞記事より引用

教育委員会
では、企画課
と連携し町内
先行上映実施
に向け、制
作・配給元と
交渉に入る考
えである。
(ほかに、1件
企業団地造
成についても質
問した。)

一般質問

民家や施設の立地を踏まえた スマートICの安全対策を求める



成川 友仁 議員



スマートIC付近の公共施設

インターの安全対策

立地条件を踏まえた
先駆的な取り組みを
安全対策に努める

議員 上市スマートインターチェンジ(仮称)の出入口は、厳しい立地条件にある。民家が建ち並び住宅地で、しかも近隣には社会教育施設(宮川公民館)や各種福祉施設(こども園・就労支援事業所グループホーム)が存在。全国各地のICから類似条件の取り組みを参照しつつ、先駆的な安全対策を進められたい。

建設課長 このような立地事例は例がない模様。上市町の取り組みがよい安全対策事例になるよう努める。

第三者的支援人材

これまでの成果と今後の見通しを問う
事業と関与を継続

議員 地方創生支援人材を、企画課の参与として2年間受け入れた。これまでの成果は。

企画課長

移住・定住施策を考えるグループ討論会、職員向けのマーケティング研修、東京大学の大学院生による調査研究、まちづくりトークなどを開催。誰に何をどのように伝えるか、という切り口を踏まえた事業展開を進めている。

議員 今後も第三者的な視点を備えた人材の活用を。また、地域おこし協力隊の新規採用に向けた方策は。

企画課長

加形(かがた) 参与に引き続き委嘱し、公共交通を始めとするまちづくりの視点から関与を求める。

移住セミナー等で情報発信すると共に、各機関とも連携して地域おこし協力隊員の募集に努める。

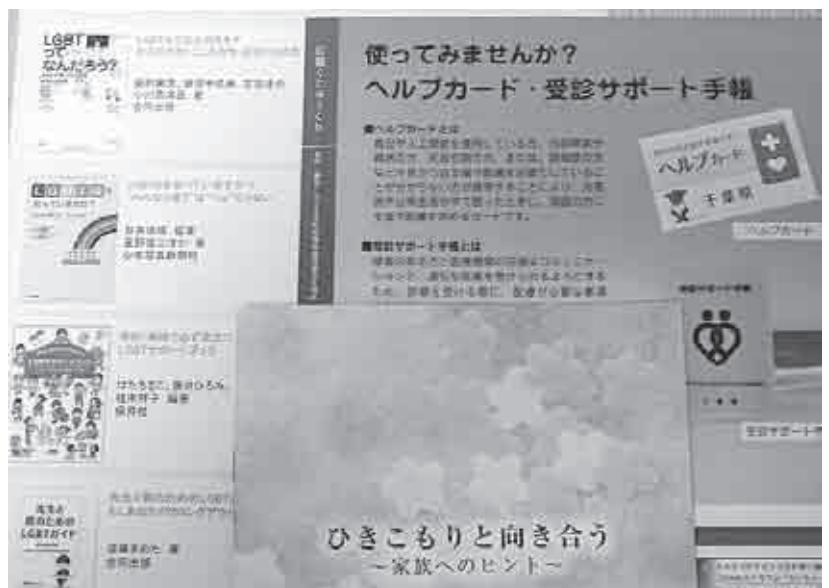
社会的弱者の支援

支援と啓発を 連携して施策推進

議員 ひきこもり・自殺
予防・LGBT・内部障害
の当事者や対象者は、多
数派から見えにくい、法
制度などに不備がある、
幅広い連携が求められ
る、といった課題を抱えて
いる。支援および啓発の
取り組みと方策は。

福祉課長

ひきこもりに
ついては、家庭訪問による
見守り支援や相談会の紹
介などを行っている。県や
民間団体と連携・協力す
る。



小冊子や広報誌を用いる県内外の事例(ひきこもりの家族支援・内部障害を示すヘルプカードの啓発・LGBT関連の書籍紹介)

自殺予防に役立つゲ

トキーパー(命の門番)を
養成し、「上市あなたのこ
ころ守り隊」との名称で地
域ぐるみの支援を継続。

LGBTは同性愛・両性

愛や性同一性障害をもつ
方々を表わす用語。正確
な知識を普及し、適切な
相談場所の情報提供を行
う。

内部障害は、心臓疾患

など見た目で分かりにく
い身体障害。ハートプラス
マークは障害の当事者を
示す記号で、役場本庁舎
と保健福祉総合センター

の駐車場に設置している。
今後も福祉フェスティバル
などさまざまな機会での啓
発に取り組む。



議員 碓井 憲夫

里山資源の活用でイノシシの減退を

議員 増え続けるイノシシは農村に困難をもたらしている。

イノシシが増える背景

冬期の積雪量の減退、里山の過疎化と耕作地の後退、ヤブなどイノシシの隠れ場の増大。耕作物の残存によるイノシシの栄養源の増などがある。対策として

防護柵の設置、わな、おり、銃を使用してイノシシの数を減らすなどの対策が進んでおり効果が伝えられているがイノシシの被害は止まらない。

戦争中は全国どこもイノシシ被害はなかった

戦争中は燃料が貴重で森やヤブが整理されており、イノシシの隠れる場が、残存していなかったことが背景にある。

里山近辺の森とヤブを資源として活用し、イノシシの隠れ家をなくする

森とヤブを継続して整備することは容易ではない。しかし商品価値がつけば地元集落の参入など道は拓ける。

産業課長 当町では、平成19年度から町内11地区において、「水と緑の森づくり税」を財源とする「里山再生整備事業」を実施している。この事業は、生物多様性の保全や野生動物との棲み分け、教育の場の提供などを目的として、主に広葉樹林や竹林の伐採などの整備

を行うものだ。整備で発生する広葉樹・竹を資源として利活用するには、これを受け入れ、加工・処理する施設が必要であるが、採算性や受け入れ条件に適合しない場合が多い。

一部「薪や原木等」として利活用されているのみで、商品価値には繋がらない。県が窓口となって募集している「県民による森づくり提案事業」がある。この事業は、地域住民等で構成された団体が主体となり、地域の活動として森林整備や木竹等の森林資源の利活用など自ら企画、実践し地域の

イノシシ捕獲数(銃・わな) H29年

	6月	7月	8月	9月	10月
立山町	0	1	24	21	9
滑川市	10	8	3	17	11
上市町	13	3	0	2	13

実情に応じた森づくり活動に支援されるものである。この事業は、地域住民等が主体となり、地域の活動として森林整備や木竹等の森林資源の利活用など自ら企画、実践し地域の

用にとめているが、更なる利活用を追求しなければならぬ。

脆弱単身高齢者の支援対策の強化を

議員 特別養護老人ホームやグループホームなど、入所、あるいは料金が払えず利用できない方など、介護保険の利用範囲の縮小が続き、ひとりぼっちで不安な虚弱高齢者が増大している。上市町は総合病院、訪問介護ステーション、地域医療連携室、地域包括支援センターなど充実しており、それぞれ連携して

介護保険の推移

中新川広域圏	要支援⇒要介護になった方	要介護⇒要支援になった方
平成25	247名	56名
平成26	233名	38名
平成27	198名	61名

成果を上げていることは承知しているが、地域コミュニティが弱まる中で、買い物、ゴミの分別、除雪作業などどこに相談すればよいのか孤立しておられる方もみられる。

福祉課長 住みなれた地域で可能な限り長く暮らすためには、まずは本人又は家族の支えにより、自分でできることは自分でする「自助」が大切だ。しかし「自助」だけでは解決できないとき、上市町社会福祉協議会が実施しているケアネット活動など住民参加型の地域福祉活動を通して解決の方向を見出している。

これは地域住民がチームを作り、個別支援を必要とする方々の福祉ニーズを把握し、その解決に取り組むもので、買い物・ゴミの分別・除雪作業など近所同士の「互助・共助」で解決を図る取り組みだ。まずは福祉課や地域包括支援センターに相談していただきたい。

一般質問

国民健康保険制度改革 早月国有林の観光ルート化



酒井恒雄議員

医療分の保険税率引き下げへ

議員 国民健康保険事業の現状と今後について伺う。

町長 平成30年度からの国民健康保険制度については、県が財政運営の責任主体となり、安定な財政運営や効率的な事業の中心的な役割を担う事により、制度の安定的を図る事を目的としている。広域化により、県は、15市町村の国保事業の歳入と歳出を一体的に管理し、療養の給付等に要する費用を全額市町村へ交付金として交付する一方で、市町村は、県の示す標準保険率を参考に保険率を定め保険税を賦課、徴収し県に納付金として納める事になる。県への納付金を納める事が出来ると想定した税率を設定するもので、医療分の保険税率を現行よりも引き下げる方針。

議員 被保険者の皆様に

新制度を理解して頂く為にも変更内容を解かりやすく広報誌等に掲載して頂きたい。

町長 国民健康保険被保険者の皆様へは、広報誌やホームページへの掲載を通して、新しい制度や税率等をお知らせして参りたい。

議員 健康長寿、安全安心の街づくりを目指して「認知症、徘徊対策」について伺う。当町の高齢化率34.9%、認知症者が89人の中で25名が徘徊ネットワークに登録されており対策が喫緊の課題で有り身元確認が出来る、爪に貼るQRシール化、費用対効果の面でも安価で有る。

福祉課長 認知症の高齢者の徘徊対策として、平成30年度、QRコードを使った本人確認システムや、GPSによる位置確認システムを家庭で取り入れた場合の費用補助の検証、新年度に予定する徘徊模擬訓練でシステムの実証実験を実施。今後

地域の皆様、ボランティアなど認知症高齢者の見守りや徘徊時に早期発見早期対応出来る徘徊SO Sネットワークを更に進め安心な地域づくりを目指す。

議員 復旧治山事業早月国有林の観光ルート化について伺う。国、直轄で行っている復旧治山事業、早月国有林ブナクラ

谷や小又川最上流事業も多く町民の皆さんに、自分の目で見て頂き現地を体感しモデル的なツアーになる事を提案する。

産業課長 当町に於ける早月国有林の復旧治山事業については、集中豪雨、地震等による、昭和30年代より施行され、今まで小又川最上流、ブナクラ谷が被災を受け復

旧治山事業として工事が施工されており、治山施設を町民の皆様に見て頂き森林セラピーや馬場島等も組み合わせ、モデル的ツアー実施に向け、富山森林管理署に働きかけ、実現可能な見学会になるように協議する。



小又川復旧治山事業

追跡レポート

その後実った議会での提案・要望

各学校に防犯カメラの設置

平成29年9月議会質問

その後

町内全ての小・中学校に防犯対策の観点から、防犯カメラが設置され、安心安全に一役かっている。



カミール北側駐車場の改善

駐車場整備に伴う、側溝改良・電柱移動で駐車スペースがスムーズに、又、交差点付近の視野が広まり、交通安全対策も図られた。



みんな知ってた？



僕の名前は、**つるぎくん**

誕生日は、**2月9日9時9分**（劔岳の標高2999mと同じだよ。）

あらためて、今後もよろしくね。

町民の声 紹介



相ノ木新町
山本 啓子さん

議会に期待すること
以前からずっと気にかけていた町営バスが、ようやく見直しされると聞きました。日常的な買い物や病院通いなど、現在の運行に不自由を感じている人は、私の周りにもたくさんいます。是非、そういった生の声を反映して頂き、免許証を返納した後も安心して利用できるようなシステム改善に期待しています。
また、夫のふるさとである種地区や、お年寄りに優しい町づくりもお願いします。

結婚を機に、上市町に移り住んで45年。風光明媚なこの町で、営業の仕事を生業として、ある時は失敗し、又ある時は周りの人から力を頂いて、一生懸命に生きて来ました。趣味であったパステル画もあきらめざるを得ない状況となり、現在は65歳から始めたピアノに加え、カラオケも楽しんでいます。

下青出
牧野 恵和さん



議会に期待すること
若い世代の上市町への関心が薄いと感じます。もちろん町民が受け身ではなく、自ら関心を持つことが最も大切ではあるが、若い世代が強く関心を持つキッカケになるような政策、広報に期待します。

仕事柄、個人宅、法人等を訪問する機会が多いが、上市はおじいちゃん、おばあちゃん世代の元気が凄いい。いつもパワーをもらっています。
その一方、今の代で店を閉めなければならぬ後継者不足に悩んでおられる商店も多く、少し寂しさを感じています。

議会傍聴しませんか。

日程は、町広報とホームページで確認願います。

お知らせ

「声」の募集
町民の声コーナーに、ひと言お寄せいただける方を募集しています。各議員または議会事務局までお知らせください。

会議録の閲覧

インターネット上で本会議の会議録の検索や閲覧ができます。(定例会終了後約2カ月後に更新されます。)

アドレスはこちら

町ホームページ「議会会議録検索」または、
<http://www.town.kamiichi.toyama.dbsr.jp/>

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 勝戸 謙 |
| 副委員長 | 伊井 勇治 |
| 委員 | 松本 寛 |
| | 堀田喜久男 |
| | 宝嶋 洋子 |
| | 酒井 恒雄 |

編集後記

今年は大雪に見舞われ、通勤・通学、買い物などに支障を来す大変な年でした。
幸い、大きな事故なども余りなく、暖かい春を迎えている今日この頃です。

さて、3月定例会では、町民生活の向上を図るため、新年度予算を議決しました。

各議員が受けた町民からの声などを盛り込み議論し「議会広報かみいち」に報告しています。

町民の付託に答えるため、各位のご意見・ご協力を今後とも宜しくお願いします。

伊井 勇治



連絡先 上市町議会

〒930-0393 富山県中新川郡上市町法音寺1 ☎076-472-1111 FAX076-472-1115 ホームページ <http://www.town.kamiichi.toyama.jp/>